

● 世界の主な地震

令和7年（2025年）2月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

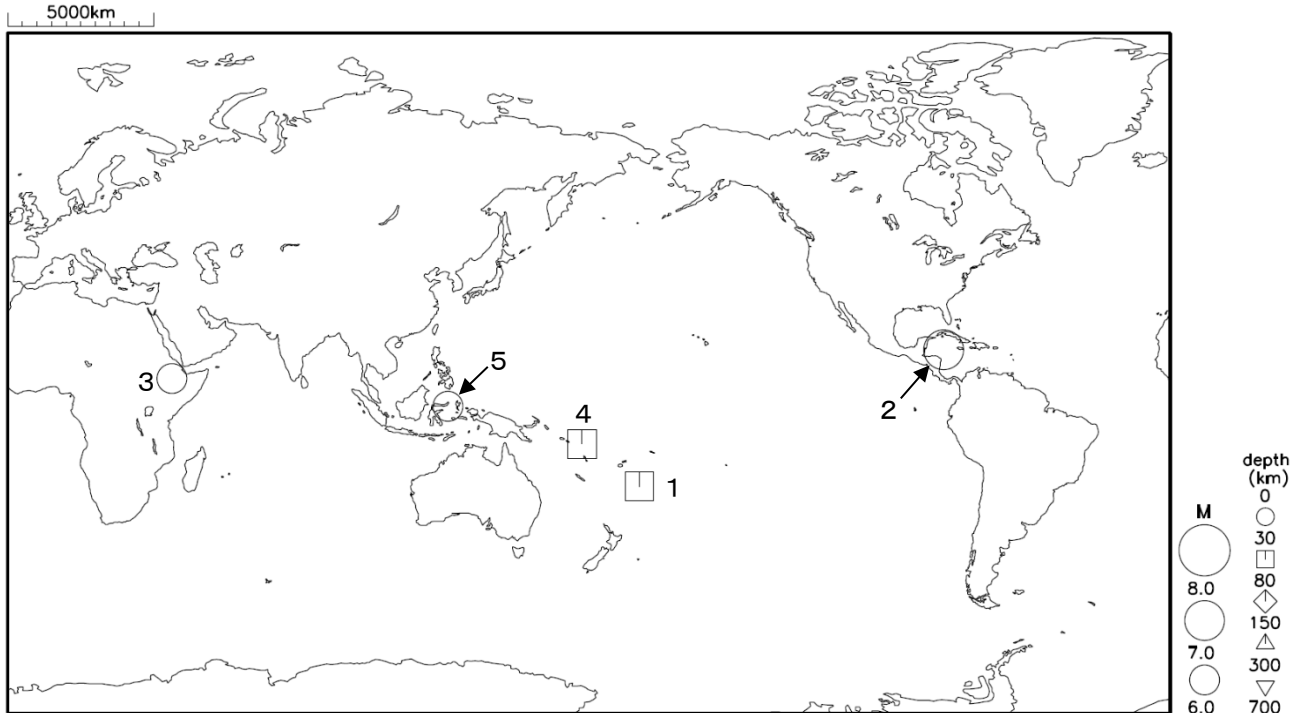


図1 令和7年（2025年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和7年（2025年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

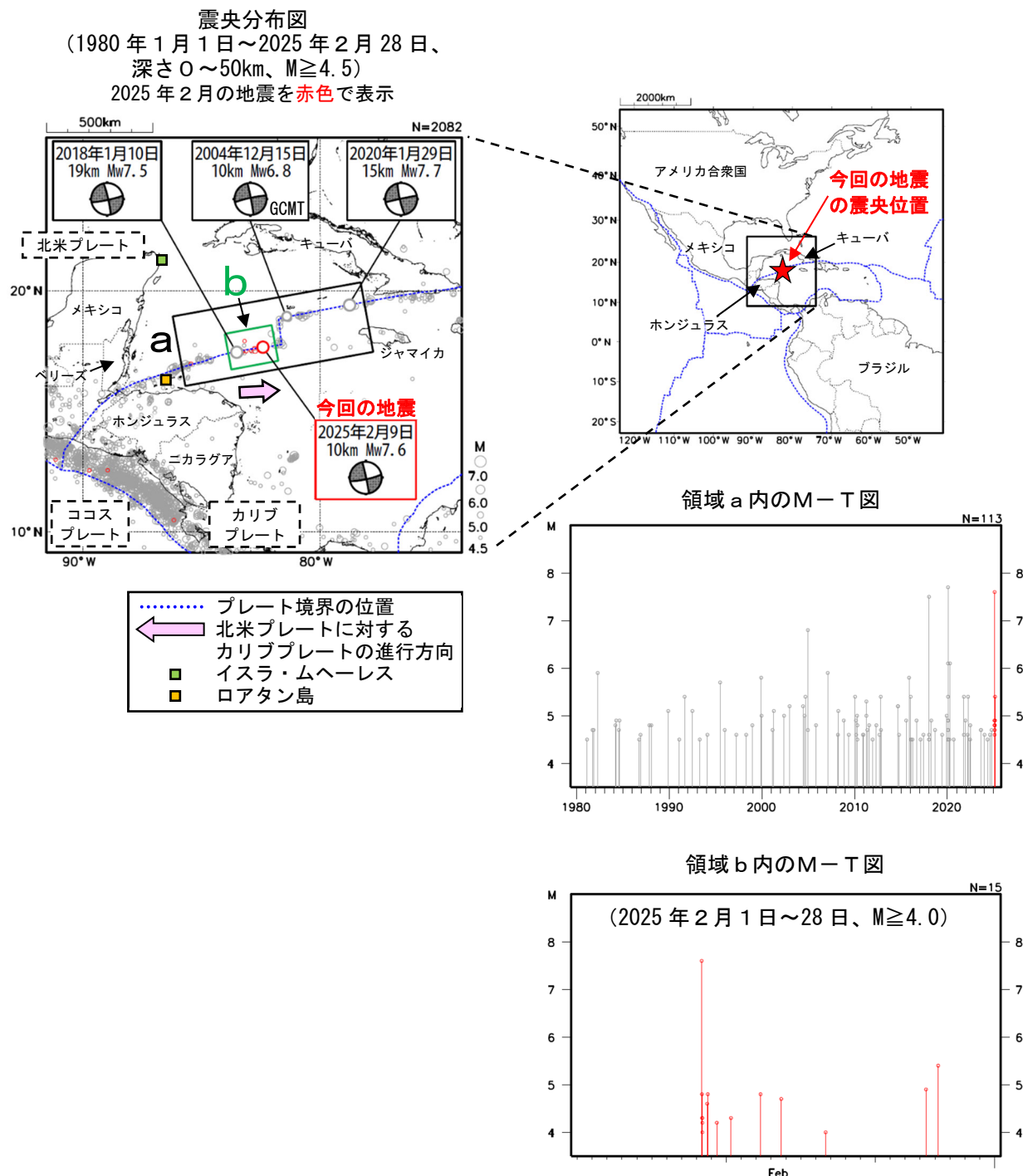
番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02月07日19時27分	S23° 55.0′	W176° 8.5′	59			6.0	フィジー諸島南方			
2	02月09日08時23分	N17° 41.4′	W 82° 24.8′	10			(7.6)	ホンジュラス北方	津波観測0.04m（イスラ・ムヘーレス）		○
3	02月15日05時28分	N 8° 58.0′	E 39° 57.2′	10			6.0	エチオピア			
4	02月24日03時16分	S11° 16.9′	E166° 16.0′	36			6.0	サンタクルーズ諸島			
5	02月26日07時55分	N 0° 22.5′	E124° 56.4′	10			6.1	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2025年3月3日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2025年3月3日現在）による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による（2025年3月3日現在）。

2月9日 ホンジュラス北方の地震

2025年2月9日08時23分（日本時間、以下同じ）にホンジュラス北方の深さ10kmでMw7.6の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートとカリブプレートの境界付近で発生した。気象庁は、この地震に対して、同日08時53分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。今回の地震により、イスラ・ムヘーレス（メキシコ）で0.04mの津波を観測した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6程度の地震が時々発生している。2018年1月10日にはMw7.5の地震が発生し、ロアタン島（ホンジュラス）で0.4mなどの津波を観測した。



※震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（2025年3月3日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、2004年12月15日の地震はGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年3月3日現在）。プレート境界の位置はBird(2003)^{*1}より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.